

## ― 卷頭言 ―

昨年から全世界的に猛威を奮い続けているコロナ禍の中、研究大会の開催を見合わせざるを得なかった。あわせて学会の報告誌でもある『富山大学国語教育』（2020年刊45号未刊）の刊行も見送らざるを得なかった。学会執行部一同忸怩たる思いである。

年が明けてもコロナ禍の猛威は収まる気配もない。このような過酷な状況下であつても我々は研究・教育活動を一步ずつでも進めていかなければならない。

研究大会は実施できなかったが、個人々での研究活動は着実に進められている。学会での研究発表の成果の報告は叶わないが、個人での研究成果を発表する場として、『富山大学国語教育』増刊号を刊行することにした。珠玉の論考が寄せられている、諸兄には是非ご高覧いただきたい。

富山大学国語教育学会

会長 清水 晃